

## 一般意見の聴取、反映方法について

### 1 委員会、部会におけるこれまでの取り組み

一般からのご意見を常に受け付け、頂いたご意見を委員会、部会資料として配付  
委員会、部会の場で一般傍聴から意見をお伺いする時間を設ける（すべての会議で実施）  
いくつかの現地視察において、決められた視察ポイントに現地の方に自由に集まって頂き、  
意見をお伺いした

11/20 琵琶湖部会現地視察にて、地域に詳しい方に事前をお願いしていくつかのポイントで  
現状等について説明頂いた

12/21 琵琶湖部会終了後に意見聴取のための試行の会を開催し、意見発表を希望される方す  
べてにお話し頂いた

テーマを設定し、広く呼びかけて「一般からの意見募集」を行った（昨年12月に流域委員  
会として実施）

淀川部会、猪名川部会では、「一般からの意見募集」への応募意見のなかから10名程度を選  
出し、部会（淀川1/26、猪名川1/27）にて直接、意見発表頂くことをお願いした。

### 2 今後考えられる取り組み

#### （1）意見聴取方法の検討にあたっての視点

意見聴取方法を検討するにあたっては、下記の視点を考慮する必要がある。

意見聴取を行う目的は何か

- ・ 真実（現状やニーズ）をきちんと知りたい
- ・ アイディアを得たい
- ・ 何かの事項について判断する材料としたい
- ・ 啓発やPRを行いたい

今、部会における議論はどのような段階か

- ・ 現状把握段階（今起こっている事象、問題点等）
- ・ 課題、方向性検討段階（治水に関するスタンスの選択等）
- ・ 具体的な計画、事業等について検討段階（個別メニュー（ダム等）の検討等）

どのような対象を考えるか（だれに聞くべきか）

- ・ 流域住民（川に近接／氾濫域に居住／高台に居住）  
（上流／下流）  
（子ども／若者／主婦／中高年／高齢者）
- ・ 河川の利用形態による違い（飲料水として利用／レジャーに利用／仕事で利用）
- ・ 河川に係る組織、団体（生業／レジャー／自然保護）
- ・ 利害関係者（水域利用者 水上バイク利用者／地域住民／漁業者／環境団体 等）

### 3 意見聴取の方法

2で挙げた視点を踏まえ、意見聴取のタイプとして考えられるものを下記に示す。

タイプ	適している段階、目的	考えられる具体案
A：ディスカッション、ディベート型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な事項を検討する段階</li> <li>・何かの事項についてアイデアや判断を求めたい場合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般の人たちによる会設立 一般の人たちによる会を作り、ある期間に求めた内容について議論頂き、一定の結論を出してもらう。</li> <li>・公開討論 ある問題に関する「反対」「賛成」の意見を持つ人、団体を集め、双方で議論してもらう</li> </ul>
B：委員によるインタビュー型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状把握、課題・方向性検討段階</li> <li>・現状、ニーズを詳細に聴きたい場合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員による分担インタビュー 委員各自が分担して各方面へのインタビューを行う。記録文書を作成し、情報を共有する。</li> <li>・アポイント無しで押し掛ける 大勢もしくは数名の委員が、事前にアポイントをせず、でかけその場にいる人々にインタビューする。</li> </ul>
C：一般と委員の共同作業型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題・方向性検討または具体的な議論の段階</li> <li>・アイデアを得たい場合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップ 「治水の考え方をまとめる」や「について計画案を考える」など具体的な作業目的を定め、たとえば利害関係者を集め、委員と一緒にやってよりよい案を検討する。</li> <li>・一緒に現地を視察する 委員と一緒に特定の課題に関する場所を視察しながら意見交換を行う。</li> </ul>
D：サイバー型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・段階、目的、場所、時間はあまり問わない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスカッション あるテーマを設定し、WEB上に設けた会議室のなかで自由に議論してもらう。</li> <li>・アンケート、投票 質問事項に対する回答を寄せてもらう、賛成/反対を表明等。</li> </ul>
E：公聴会型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・段階、目的はあまり問わない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指名した方に意見発表頂く 事前にこちらから意見発表者を指定し、会議の場に来て意見を発表頂く。</li> <li>・希望者にすべて意見発表頂く 希望する人に会議の場に来て頂き、意見発表頂く。</li> </ul>

#### 4. 意見聴取・反映方法についての委員からのご意見

倉田委員

---

1. これまでの「A：起こっている異常・変化」について、その次に「B：では、どうしたらよいと思うか（何とかして下さいというのではなく、私見でもよいから対応方を）」について、「C：将来に亘ってあるべきと思うあり方」の3段階に分けて、3度に分けて各1~2分ずつ話してもらうのはどうだろうか。分けて3回喋るチャンスを与えると修正や補足説明ができる筈。この3回の中に、委員から質問を入れるようにしてはどうだろう。
2. 委員の方々には、非常によく発言する方と、1回位で終る方とがある。私も喋れず、ストレスが充満したまま帰ることが多い。その喋れない理由の一つには、テーブルの上の名札に（農林漁業専門）と書かれているので、自分の立場を考えるとブレーキがかかりますことが多いと思います。委員の発言「持ち回数」を与えておき、4回位にセーブしてはどうかと思います。そうすれば、たいしたことのない長話を何度もしなくなるのではないかと思います。

## 平成13年12月21日開催の意見聴取の試行の会におけるご指摘

開催日時:平成13年12月21日(金)

開催場所:大津市

開催方法

- ・チラシ、ホームページ等で参加者を公募
- ・発言希望者を募り、一人3分間で発表
- ・まとめて7～8人発表後、委員からの質問と発言者からの回答を実施

### 参加者のご意見（アンケート結果より）

記述意見	
1. 聴取対象について	
	代議士の先生や県、市の議員の方に多く聞いて頂いたらいいと思う。
	参加者が高齢の方が多すぎると思います。学生くらいの方たちの意見も集められる仕組みについて検討していただきたいです。
	本日時間、場所、職業etc.の制限の為、来られなかった人もいると思われるので、それらの意見も聞くことも必要と思われます。(ex.学校へ出かけるetc.)
	・工事関係者の意見も聞かないと。 ・道路からの排水が問題だ。道路関係者の意見は？
	「若者の意見が聞けない」ということは「変」と思う。大学生を参加させてはいいかがか？
2. 運営方法について	
(1) テーマの設定について(テーマを絞るべき 等)	
	テーマをしばって、委員ともどもで対話(討論)する。総花的な内容も参考になるが、時には掘り下げた対話も計画してほしい。
	琵琶湖部会では琵琶湖の話ばかりで河川の話がほとんどされていないが、この意見を聞く会で述べられた意見が河川や水系の話がよく出てきて、本来の部会としてあるべき姿に近い議論がなされたように思います。
	討議式の会(観点をしばった形でないと深まらない)
	今回の様な方法はまずはよいと思うが、 ・分科会形式にしたらもっと深くなる。 ・森林、農業、交通、ダム、生活、排水、河川工事、景観、遊水等。
(2) 聴取方法(ディスカッション形式に 等)	
	基本的に発表者は最初は簡潔に意見を述べて、その後委員との対話形式でいいのでは
	公聴会方式がよいのではないか。
	①事前に発言要旨を提出を求めること。②複数意見の発表を許すこと。③複数回の発言を許すこと。 ④委員に対する質問を許すこと。
	関係行政当局と膝づめで、要望、意見の会を開いてほしい。瀬田川流域のみの部会も行ってほしい。
	円卓会議の形式
	一般人同士もディスカッションすればいい。一つの意見が長い。
	委員と聴取者との間をもっと近くするとよいのではないか。円卓会議の中に委員と聴取者が同じ席であると

1人3分間とてもいいことですが「時間です」が声が小さく分かりにくいのでベルor鐘にすればいかがでしょうか。
時間的に短かった。
休憩時間をもう少し増やして欲しい。発表時間が短いと思う。
<b>(4)開催場所等</b>
JR沿線に近い場所を選んで欲しい。
現場での説明機会がとれたら、地域住民の意見を聴いてほしい(利水と河川とのふれあい)
上流から見ていく会を作ったらと思う。大雨に乗じてためていた汚水を流す人もある。
<b>(5)進行等</b>
意見発言についてももう少し早く収集してまとめを出席者に事前に配布した方がよい。発言側が不慣れでもあり、ブツケ本番ではムリ。
話題提供の発言者を4～5人にしぼって討論することも考える要あり
発言者の意見をまとめたり、足りないところを補ったり、わかりやすくかみくだいたりする、上手な司会者がいると良いのではないか、というか必要ではないか。
一般？陳情になってる気が！へた！
・川の日、水の日などを設けて、イベントを組む。 ・2ヶ月に1回ぐらいの分科会なりを計画しては。及いは地域ごと。
<b>4. その他</b>
琵琶湖流域に住んでいる人の意見をどの様にまとめていくのかたのしみ。
今回の試行は良かったと思う。もっと多くさんの一般の人からの意見を直接聞ける方法を今後きたいしています。
今日の雰囲気はよかった。
次に言う人は前もって用意していたらと思う。
意見を聴取したら、それがどのように反映されたか、または反映されなかったかを明らかにすると良いと思う。反映されなかった意見を述べた者にとって、反映されなかったことは、無視されたかのように感じるものだと思う。